

近年における さいたま市の防災対策

「避難準備・高齢者等避難開始」 時点に おける車避難者の対策



(近年における取組)

- 「Yahoo! 防災速報」アプリを通じて、緊急情報を発信
- TEC-FORCEの進出拠点への位置づけ
- 民間物流センターとの協定 ～災害時支援物資輸送拠点～
- 広域拠点備蓄倉庫の建設 ～搬入から搬出までの連続性を確保～
- 防災アドバイザーと共に歩む新たな取組
- 感震ブレーカーの普及と地区防災計画策定支援

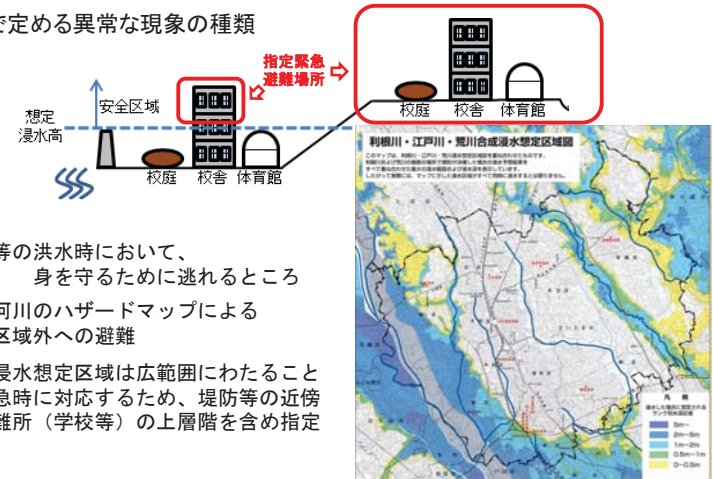
指定緊急避難場所

どこに逃げる！

■切迫した災害の危険から身を守る場所

さいたま市で定める異常な現象の種類

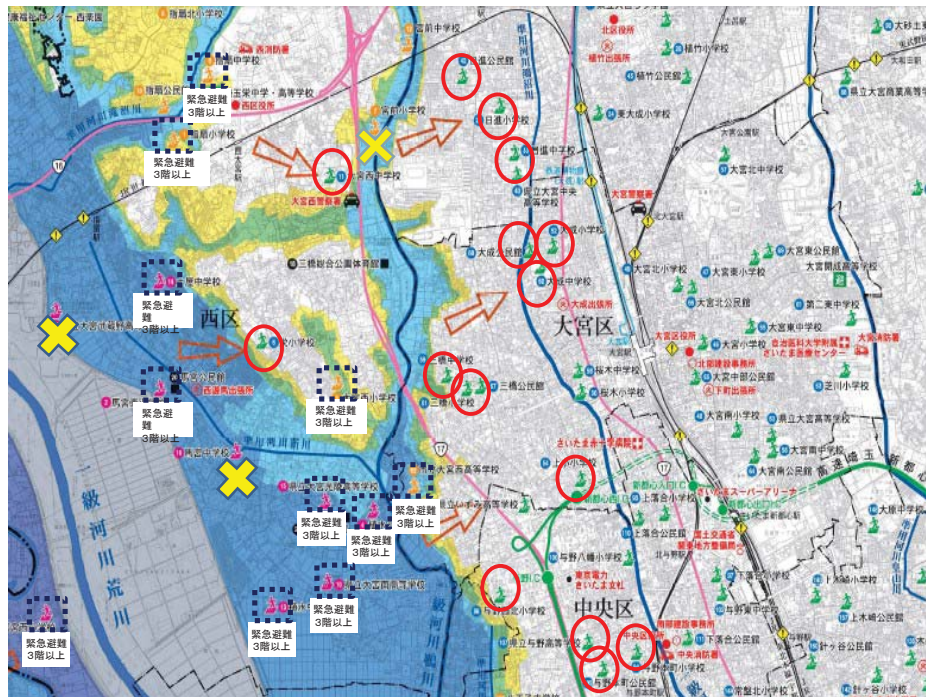
洪水



河川の氾濫等の洪水時において、
身を守るために逃れるところ

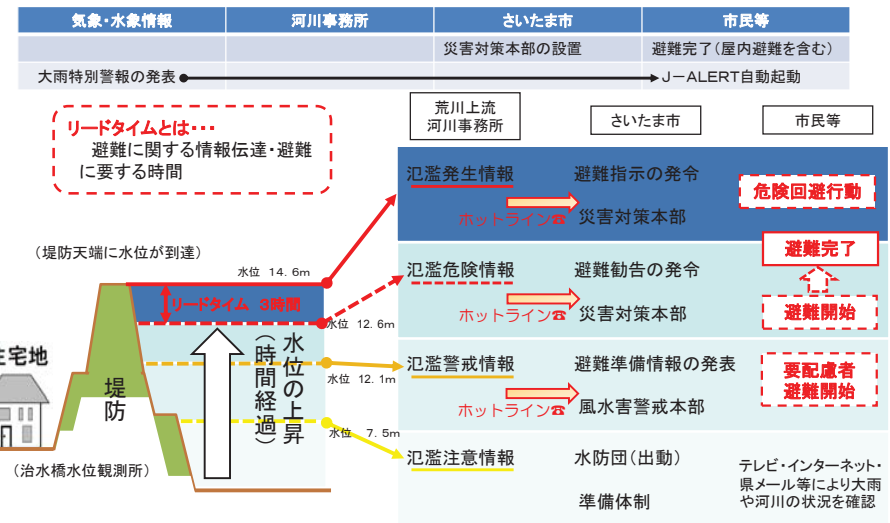
○原則、各河川のハザードマップによる
浸水想定区域外への避難

○荒川等の浸水想定区域は広範囲にわたること
から、緊急時に対応するため、堤防等の近傍
以外の避難所（学校等）の上層階を含め指定



避難勧告等の発令に着目したタイムライン(イメージ図)

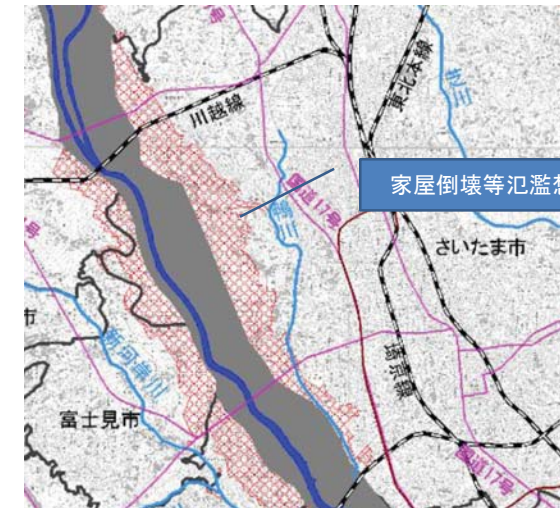
氾濫発生まで 6h～ 0h 第四次防災体制



車避難者の対策

平成29年5月30日「家屋倒壊等氾濫想定区域」を公表

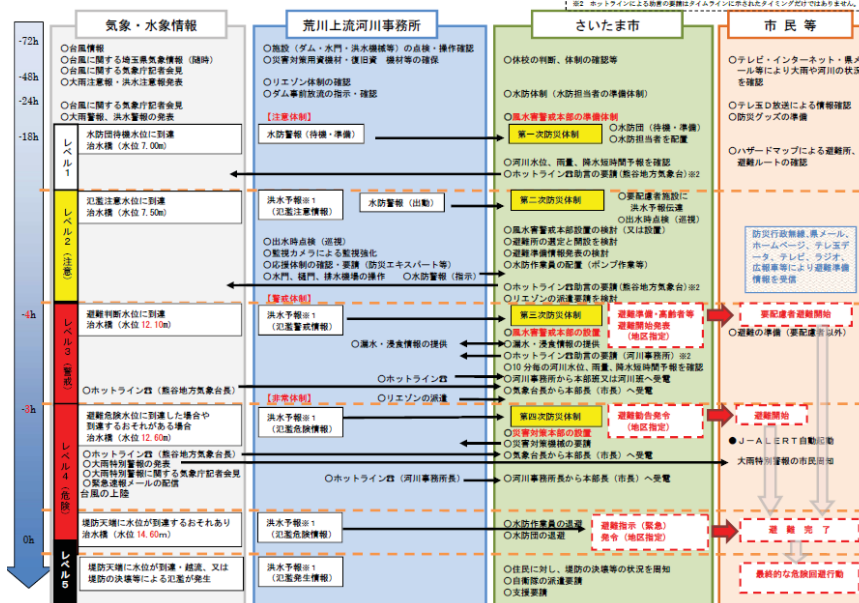
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所



家屋倒壊等氾濫想定区域

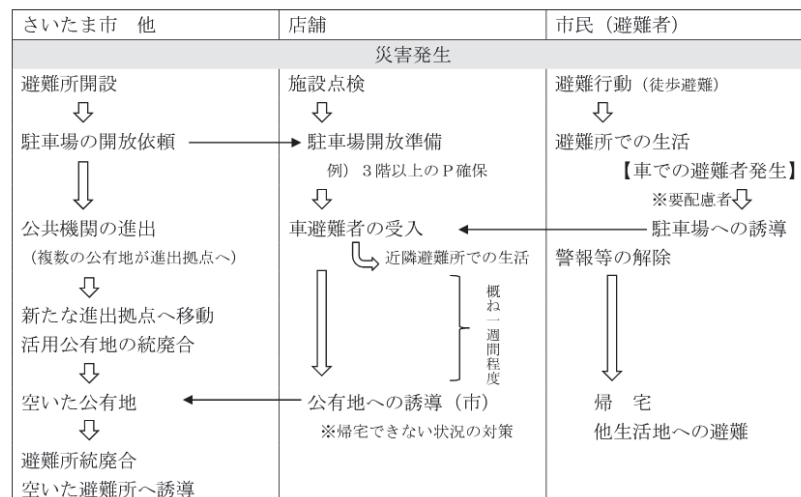
【出典】
荒川上流河川事務所
ホームページ資料

さいたま市洪水対応タイムライン（荒川）

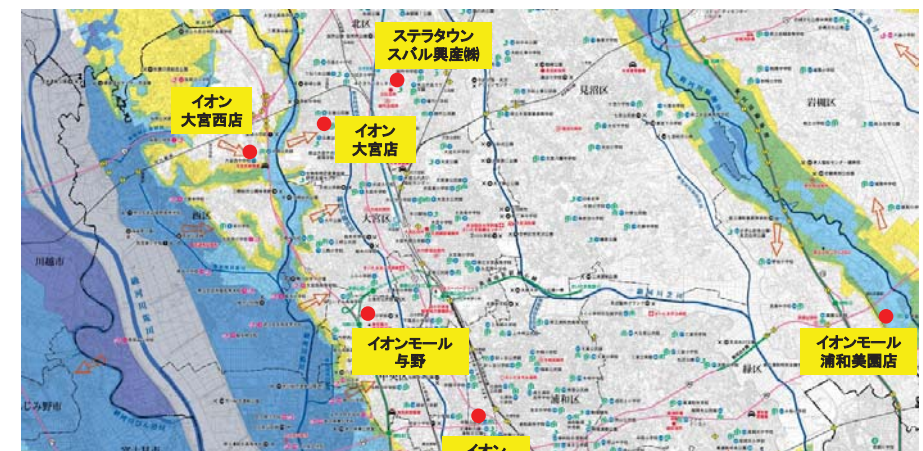


「避難準備・高齢者等避難開始」時点における車避難者の対策

荒川における洪水対策については、「避難準備・高齢者等要避難開始」の段階で、浸水想定レベルの高い地域から、如何に多くの要配慮者を避難させることができるかで、その後の「避難勧告」「避難指示」に至った場合の明暗が分かれる。



車避難者の対策



【出典】
さいたま市洪水ハザードマップ
注：本資料は、浸水想定改正前のものです
新たなものは、現在作成中です



「Yahoo! 防災速報」アプリを通じて、緊急情報を発信

全国市町村初！
市内河川のライブカメラ画像を配信



Yahoo! 防災速報
アプリ

(イメージ画像)
出典: Yahoo! 防災速報アプリ

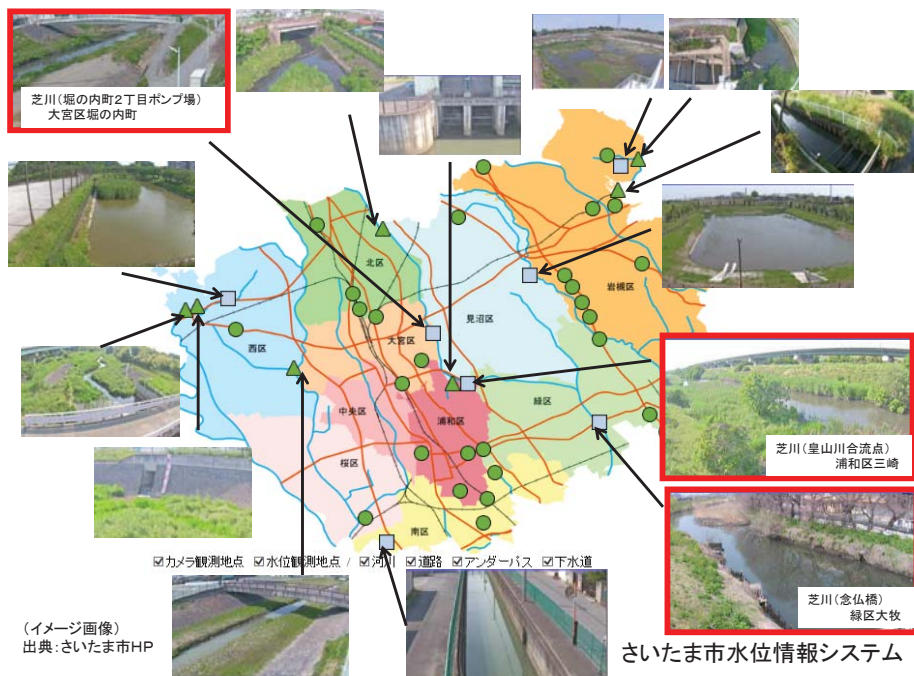


Yahoo! 天気・
災害アプリ

アプリからの
起動も可能

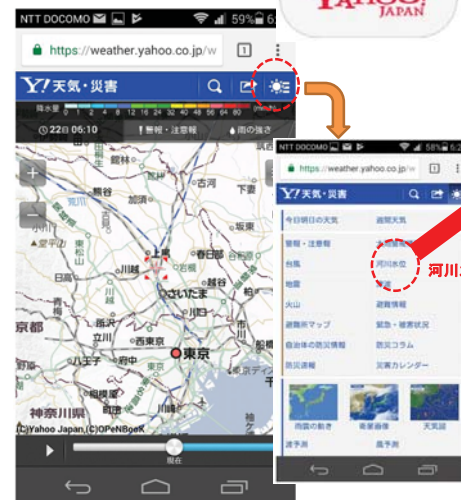


(イメージ画像)
出典: Yahoo! 天気・災害
アプリ



Yahoo! 天気・
災害アプリ

(イメージ画像)
出典: Yahoo! 天気アプリ



(イメージ画像)
出典: Yahoo! 天気HP

さいたま市水位情報システム

さいたま市

防災行政無線メール

さいたま市では、防災行政無線が聞き取りづらい方や聞き逃してしまった方などを対象に、放送した内容を携帯電話やパソコンにメールでお届けする、「防災行政無線メール」を **平成 29 年 6 月 12 日** から始めます。

登録を希望される方は、この機会にぜひ、ご登録下さい。

防災行政無線情報

さいたま新都心付近を TEC-FORCEの進出拠点に 位置付け （首都圏広域地方計画）

TEC-FORCE

Technical Emergency Control FORCE

緊急災害対策派遣隊

TEC-FORCE(テック・フォース:緊急災害対策派遣隊)
地方公共団体からの要請に基づき災害応急対策に対する技術的な支援を行う国土交通省所管の派遣隊
Technical Emergency Control FORCE



～災害時の首都圏の迅速な安全確保を目指して～
TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)における 平成28年7月13日(水)
日本大学 法学部 大宮キャンパスの使用に関する協定締結
ー関東地方整備局、さいたま市、日本大学 法学部ー



“ラストワンマイル” 災害支援物資の滞留をなくせ！ (H28熊本地震に学ぶ教訓)

それは、計画された現状が生んだ
現実の姿であった！

- 最初に入った食料が、期限を過ぎて最後に出ていく
- 入口と出口が共通
- 仕分けスペースの確保が困難
- 台車が使えず、アリーナまでのアプローチが長い



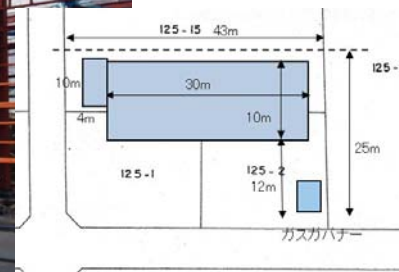
プロの物流を活用

宅配企業のターミナル施設を
市の計画に位置付け
全国初の物流一貫システム



広域拠点備蓄倉庫

さいたま市北区 (原殿園跡地)



災害時支援物資の物流イメージ



防災アドバイザーと共に歩む 新たな取組へ

平成29年度に向けて、防災アドバイザーの再編成を図る
災害対策基本法の改正（H25/6）
⇒時の要請に基づく課題に着目

地域住民が自ら作成する
「地区防災計画」の策定支援を行う活動へ進化

○時の要請： 地区防災計画策定の促進
HUG訓練等図上訓練への取組

○個人から組織へ 区単位のグループ活動の活性
事業者によるサポート体制（民間企業等）

防災アドバイザーの取組

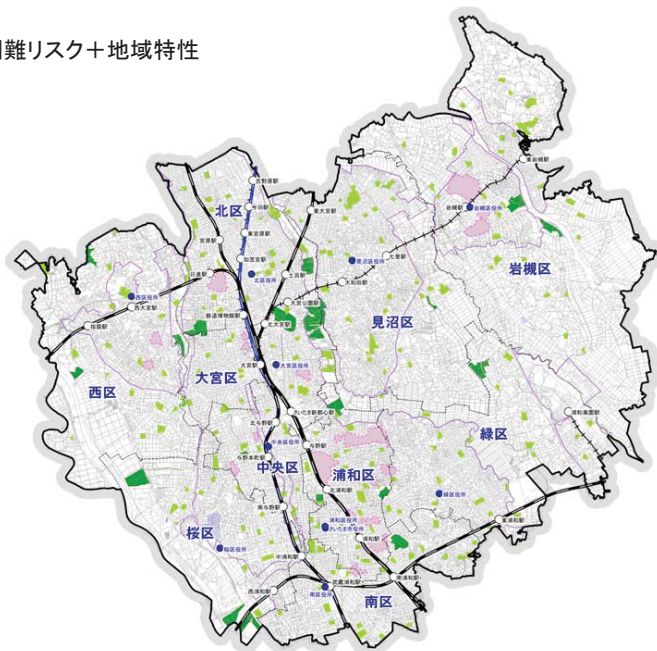


感震ブレイカーの普及 と 地区防災計画策定を支援



延焼リスク+避難困難リスク+地域特性
⇒「推進地区候補」
19地区 約320ha

- 推進地区候補(19)
- 広域避難場所
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所



感震ブレーカーの普及にあわせ、地区防災計画策定を支援

